

子どもの意見を聴く取り組み

子どもたちの意見を聴く取り組みとして、市内 9 センターで、「センターの使い方・ルールについて」子どもたちから意見収集をし、話し合いを行いました。

2025 年度のこども部会で子どもたちから実際に出た声を簡潔にまとめたものです。

1. お菓子の持ち込みについて

【食べたいという意見】

- ・友達と一緒に食べると楽しく、嬉しい気持ちになる
- ・お腹が満たされ、長く遊ぶことができる
- ・夏は外で食べると熱中症の心配がある

【工夫案として出た声】

- ・食べてよい場所や時間(おやつタイム)を決める
- ・お菓子のみ可とし、生ものやホットスナックは控える
- ・ごみは自分で片付け、持ち帰る

【持ってこなくてよいという意見】

- ・家でも食べられる
- ・アレルギーや、持てこられない子への配慮が必要
- ・トラブルや片付けの負担が心配

※ 食べたい意見と、控えた方がよいという意見の両方が出ていました。

2. スマートフォン・ゲーム機について

【使えるようになってほしいという意見】

- ・家族や友達との連絡、緊急時の連絡手段として必要
- ・待ち時間や空き時間に使いたい
- ・調べ学習や学習アプリなど学びに使える
- ・中学生向けの遊びが少ない

【使い方の工夫案】

- ・使う場所や時間を決める
- ・連絡が来た時のみ使用する
- ・音を出さない、用途を限定する

【使えなくてもよいという意見】

- ・盗難・破損・個人情報などのトラブルが心配
- ・持っていない子が嫌な思いをする可能性がある
- ・センターでは友達と遊ぶことを大切にしたい

※ 使える・使えない、どちらにも課題があるという声がありました。

3. 施設・環境・遊びについて(主な要望)

- ・遊ぶ部屋と勉強する部屋を分けてほしい
- ・くつろげる場所や貴重品置き場がほしい
- ・遊具やボードゲーム、工作がしたい
- ・漫画や本を増やしてほしい

4. まとめ

こどもたちは、楽しく過ごしたい気持ちと同時に、安全面や周囲への配慮についても考えながら意見を出していました。今後も、こどもたちの声を大切にしながら、誰もが安心して過ごせるセンターとなるよう検討を進めてまいります。なお、①お菓子、②スマートフォン・ゲーム機については引き続き検討を行い、その他の内容については、改善や可能なものから順次取り入れていきます。